

すくらおろち通信

島根県雲南市と奥出雲町にまたがる、尾原ダム・すくらおろち湖周辺の、里山と自然とそこに暮らす人の営みを元氣なものにしていくNPOの情報発信紙です。

第34号

発行所▽NPO法人すくらおろち
〒六九九一-一三四二
雲南市木次町平田七九九一
☎〇八五四・四八・〇七二九

手入れをしなくなった竹林は どうなっていくのでしょうか

いま、奥出雲・雲南の竹林は荒れています。手入れする人が少ないからです。なぜ手入れをしなくなったのでしょうか。手入れをしなくなった竹林はどうなっていくのでしょうか。……なにもかもが不透明で先が見えない世の中ですが、そんな時こそ、竹も山もいろんなことを教えてくれそうです。まずは一步を踏み出せば。

▼去る2月16日(日)、奥出雲町三沢地区は要害山の入口「みざの館」周辺で、「奥出雲竹取りの会・研修会」を開催しました。参加者は奥出雲町を中心に雲南市、出雲市、松江市から

16名の老若男女。みんな教えてあげようこと、答えを一緒に考えることをめざし、現場を観望学習した後、講師・スタッフあわせて総勢22名が林地で汗を流しました。

思いのほか人数が多かったこともあり、「実践」に重きがおかれ、想定以上に荒れた竹林が片付きました。

▼まずは、杉と竹(モウソウチ



▲枯竹や倒れた竹を整理すると気持ちもよくなり「やる気」が出ます。



▲樹木粉碎機(GS122GB)で、間伐した青竹をチップ&パウダー化。

大人気!? だったロケットストーブ。使用済みペール缶、アルミの煙突、パールライト(断熱材)で自作できるものです。



ク、雑木も混交した林地で、枯れた竹、倒れた竹、古い竹を間伐して、見通しをよくしつつ、整備作業のスペース・運び出しのスペースをつくること。枯れていない青竹は粉碎機でチップ&パウダー化しました。

▼参加者の感想には、「よい出会いがあった」「竹に親しみがあいた」などの声が多かったのですが、「みざの館はあまりが素晴らしい。整備しないと『いけない』との意見も。意見交換の中では、ほだ木置き場として竹林を活かすのも面白いのでは?との提案がありました。チップの活用法については、島根県中山間地域研究センターからアドバイスも。

▼また、ロケットストーブ(コンロ)には皆さん、興味津々でした。ヒートライザーによる吸い込み力の強さと燃焼効率には、「これは使える」という実感をもたれたようです。

▼やっかいものになっている、荒れた「竹林」が実は里山の希望の星になるのではないかと、う感触がほのかでも確かに残った1日でした。

【豆コラム】竹を焼いて残る灰にも使い道はいろいろ。竹灰を田んぼに入れるとよいことは江戸時代の農書にも記されていますが、竹灰コンニャク、竹灰釉(焼き物の釉薬)としての活かし方もあります。

『尾原ダム周辺の暮らしを楽しもう』 中止のお詫びと お知らせ

平成26年2月28日(金)から3月2日(日)まで、島根県外から移住を考えている方々を対象に開催を予定しておりました『尾原ダム周辺の暮らしを楽しもう』ツアーについて、大変残念ですが、開催中止することとなりました。

実施に向け誠意努力をしておりましたが、参加のお申込みが定員に満たず、開催の目処がたない状態です。当法人としても止む得えぬ措置として実施を断念せざるを得ない状況となりました。

楽しみにされていた皆さまには、大変ご迷惑をお掛けいたしますこと、深くお詫び申し上げますと共に、何とぞご理解、ご了承いただきたく、宜しくお願い申し上げます。



3月の 行事案内

3月9日(日) さくらおろち湖 シンポジウム 2014

さくらおろち湖の魅力

さくらおろち湖周辺の魅力を再発見する。体験メニューができる。訪れた人に魅力が伝わる。田舎の団欒を農家民泊で味わえるその日が楽しい、未来が明るい、そんな地域をいっしょにつくりたくなるシンポジウムにします。是非お越しください！

第1部 基調講演

「楽しい農家民泊！」

第2部 パネルディスカッション

「さくらおろち湖周辺での地域活動の取り組みと将来展望」

パネラー▼トラベルクリエイティブ

ト・岩崎恵子さん／とんぼの会

景山咲子さん／布勢公民館・石

原晴代さん／しまねシーカヤック

スクール・森山尚さん



▲さくらおろち湖の魅力のひとつ、ボート競技コース。

▼主催：さくらおろち湖田舎ツーリズム協議会▼とき：3月9日(日) 午後2時～午後5時▼ところ：雲南市木次町平田779-13「温泉交流センター」▼参加無料▼申込みお問合せはNPO法人さくらおろち湖事務局(☎0854-4810729)



お知らせ

▼第2回さくらおろち湖トレイルラン参加申込切迫！大会は平成26年4月27日(日)に開催されますが、お申込みは2

月28日(金)必着まで。さくらおろち湖ボート競技施設をスタートし山道を走るもので、24kmのロングコースと13kmのショートコースがあります。さくらおろち湖トレイルラン大会ホームページ(<http://user.kkm.ne.jp/yohou/>)かFacebookページにてご確認ください。

★会員募集

私たち「NPO法人さくらおろち湖」は、尾原ダム周辺の自然環境や伝統文化や施設といった地域資源を活かし、様々なイベントや地域活動に取り組みいたします。また、地域の方々とともに斐伊川水系の上流域を拠点とする団体として、積極的な情報発信を行い、流域圏における交流と絆づくりを進めているところです。

尾原ダム・さくらおろち湖をとりまく地域を、そこに暮らす住民の方々が誇りに思い、下流域に暮らす人々とともに、長く愛しあえる関係を築くために、当法人の活動にご賛同いただき活動を支援していただける会員

を募集しています。

正会員▼当法人の総会において議決権を持ちます／入会金1000円・年会費2000円。

賛助会員▼活動を財政面から支えてくださる会員です／入会金1000円・年会費1000円。

※正会員特典としては、主催行事参加費10%オフ、イベント情報のご案内、さくらおろち湖の発信(希望者のみ)。

▼ご入会のお手続きについてはNPO法人さくらおろち湖事務局までお問い合わせください▼

〒699-1342 雲南市木次町平田779-11 ☎0854-4810729

E-mail sakura-o@bs.kkm.ne.jp



▲小雪舞う冬の尾原ダム(さくらおろち湖)。

【豆コラム】海と山との交流事業「横田カキまつり」がよこただんだん市場で3月9日(日)午前10時30分～午後1時30分で開催。そして、さくらおろち湖シンポジウムは温泉地区で午後2時から。ダブルでご参加を！